

内容

1. 注意	2
2. 製品紹介	4
2-1. 内容	4
2-2. 特徴	5
2-3. 各ボタンの機能	6
2-4. コネクター	7
3. 詳細な機能を使用する方法	8
2-1. 初期セットアップ時の注意点	8
2-2. 基本的な接続	8
2-3. 使用方法	9
3-3-1. CCTVトランスミッタの基本的な使用	9
3-3-2. パスワード機能	10
3-3-3. OSDの入力と使用方法	11
3-3-4. プリセット位置の設定	12
3-3-5. スイングモードの設定 (オートパン)	13
3-3-6. グループモードの設定	14
3-3-7. ツアー設定	16
3-3-8. 初期設定	18
3-3-9. P/T/Z トレース設定	18
3-3-10. カメラリモート設定	18
3-3-11. その他設定	19
4. 注意と点検	20
5. 寸法	21
6. 標準	22
6-1. 一般スペック	22
6-2. コントローラースペック	22
6-3. 電源	23
6-4. カメラ制御インターフェイス	23
7. 操作	24

1. 注意

お買い求めいただきありがとうございます。製品を設置する前には取扱説明書をよくお読みの上正しくご使用下さい。

また、お困りのことがありましたらサービスセンタへ問い合わせください。

■設置時の注意事項

設置する前には次の事項をご確認してください。

次のような場所への設置は避けてください。

	<input type="checkbox"/> 高温や低温の場所 40℃ 以上や -5℃ 以下の場所への設置は製品の性能が低下して、故障の原因になります。
	<input type="checkbox"/> 雨、雪または湿気が多い場所 製品の内部に湿気また水、他の液体類が入ると故障の原因になります。
	<input type="checkbox"/> 油類やガスが及ぶ場所 製品に油や液体またはガスが入ると故障の原因になります。
	<input type="checkbox"/> 振動や衝撃がある場所 設置場所が振動などのゆれや外部の衝撃が加える場所は故障の原因になります。
	<input type="checkbox"/> 直射日光や外部に露出される場所 強い直射日光や環境変化が激しい野外には設置しないでください。
	<input type="checkbox"/> 高周波 (RF), 電力線と隣接の場所 電子波通信装備、送電線の周りで強い電子波が発生する場所は避けてください。

■使用時の注意事項

• 設置する前に下記の注意事項を必ずお読み下さい。	
	<input type="checkbox"/> 分解、異物質を入れないでください。 製品を分解すると、金属物などの異物質が入り故障の原因になります。
	<input type="checkbox"/> 電源をOFFにして設置してください。 設置前に使用電源電圧を確認してください。
	<input type="checkbox"/> 強い衝撃や操作をしないでください。 製品に強い衝撃やボタン、端子などに無理な力を加えると故障の原因になります。



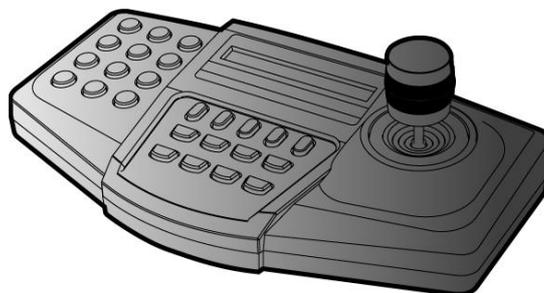
この製品は下記の条項に従い、欧州規格に従って設計され製造されています。
電磁適合性指令 89/336/EEC (EN61000-3-2:1995, EN61000-3-3:1995, EN50081-1:1992,
EN50082-1:1997)

(1) この製品は有害な干渉を引き起こさない。(2) この製品は望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含めて受信したすべての干渉を受け入れなければなりません。この製品は FCC の操作条項の項目 15 条に準拠しています。

2. 製品紹介

2-1. 内容

- a) コントロールキーボード : 1個



- b) 電源 (DC 12V 1.0A) : 1個



- c) 取扱説明書 : 1個



2-2. 概要と特徴

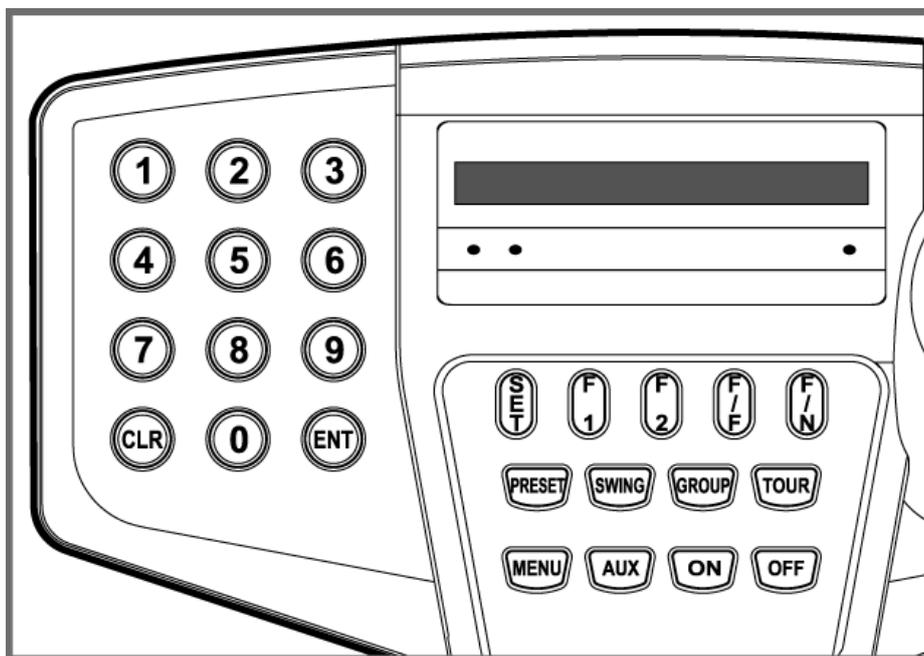
- 概要 -

本機器はSpeed Domeカメラ、CCTV ReceiverおよびMatrix Systemなどを接続して制御できる複合機能のCCTV Control Keyboardです

- 機能 -

- 最大255台のカメラ制御
- ジョイスティックによるPan/ Tilt/ Zoom抑制
- 最大250個Preset設定で監視領域拡大
- PAN/TILTスウィング自動抑制
- グループ監視制御
- ツアー監視機能搭載
- PTZトレース機能
- スパイラル機能
- 複数のプロトコルに対応
- OSDカメラ設定
- カメラ・ライト・電源・AUX

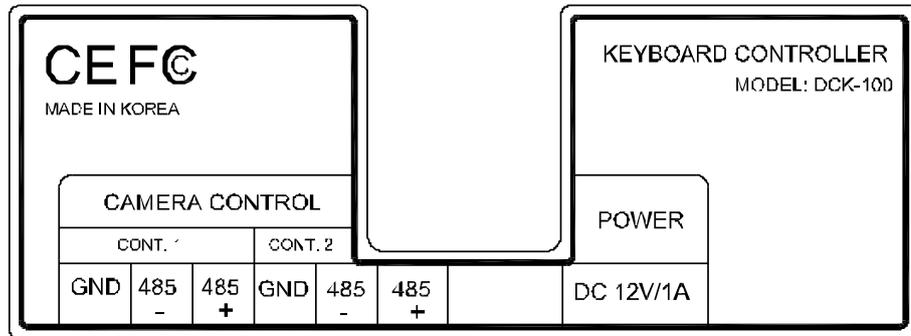
2-3. 各部名称および機能



- 1) **Numbers** : (0 - 9)数値の入力や他機能の入力に使用します。
- 2) **CLR (CLEAR)** : 番号入力および他に入力した機能の削除時、このキーを使用します。
- 3) **ENT (ENTER)** : カメラまたはProgram入力時に指定した内容を保存または実行時に使用します。
- 4) **SET** : 設定モード時に使用します。
- 5) **F1** : 予備キー
- 6) **F2** : 予備キー
- 7) **F/F, F/N** : Zoom lens使用時に Focusを制御するKeyです。
- 8) **PRESET** : Preset位置入力および入力した位置にカメラを移動させるKeyです。
- 9) **SWING** : 2個のPreset point間をPanまたは Tilt swingで繰り返し監視する機能です。
- 10) **GROUP** : 最大12箇所の Preset pointを1個のGroupで集め、指定した速度と待機時間をもって順次監視する機能です。
- 11) **TOUR** : 最大12個のGroupを1個のTourに集め、連続Group動作を実行させる機能です。
- 12) **MENU** : 機能設定時に使用するKeyです。詳しい事項は各部分別の機能説明を参照してください。
- 13) **AUX** : Receiver boxの予備接点On/Off Keyとして別途の機器を制御できます。
- 15) **ON, OFF** : 機能を実行または停止する際に使用します。

2-4. Connector (terminals at the bottom of unit)

RS-485 is used for communication.



(製品のターミナル図)

■ Camera control

1～128台のスピードドームまたはCCTVレシーバーを接続できます。
RS485通信での並行接続。

■ Camera control 2

129～255台のスピードドームまたはCCTVレシーバーを接続できます。
RS485通信での並行接続。

■ POWER

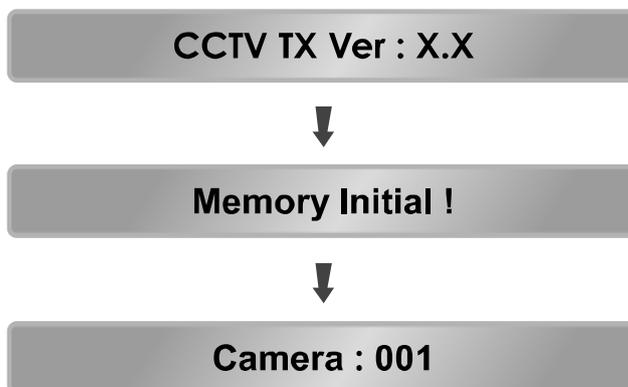
電源 DC 12V 1A

3. 詳細な機能の使用方法

3-1. 初期セットアップ時の注意点

この製品は、CCTV送信機のキーボードとしてのみ使用できます。

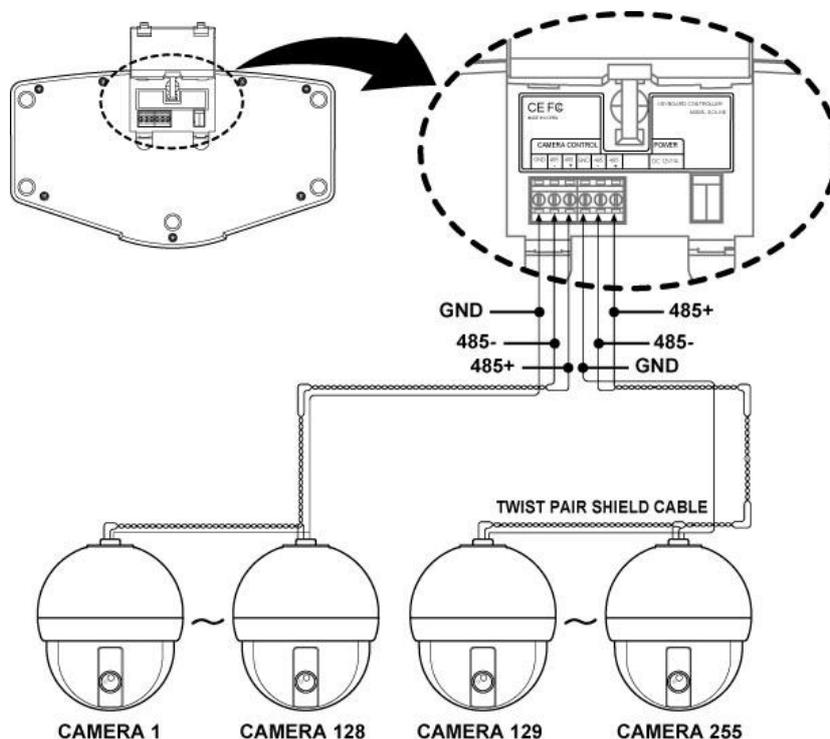
- DC電源を供給すると、バージョンが表示され以下のように操作を行います。



3-2. 基本的な接続

- 3つのデータ（485+、485-、GND）をデータに使用できます。

（グラウンドで接続されていない場合もありますが、キーボードの裏側のカバーを開けてからケーブルを接続してください）



3-3. 使用方法

3-3-1. CCTVトランスミッターの基本的な使用

以下は、本機をCCTV送信機として使用する設定方法です。

■ プロトコル設定

キーボードは、D-max、Pelco-P、Pelco-D、Samsung-Tのプロトコルに対応しています。

Notes

D-max, Samsung-Tはビットレート9600bpsにのみ対応します。

Parity bit, data bit, start bit = N,8,1

	D-max	Pelco-P	Pelco-D	Samsung-T
9600bps	0	0	0	0
4800bps	X	0	0	X
2400bps	X	0	0	X

-プロトコルを変更する方法

①SETボタンを押して電源を入れると、プロトコル設定が表示されます。



1=Dmax 2,3=P 4=S

②キーボードの左側にある番号を押して、プロトコルを選択します。

No.	Protocol
1	D-max
2	Pelco-P
3	Pelco-D
4	Samsung-T



1=96 2=48 3=24

ボーレート設定は、プロトコルを選択した後、LDCに表示されます。

③ボーレートを設定する (1=9600bps, 2=4800bps, 3=2400bps)

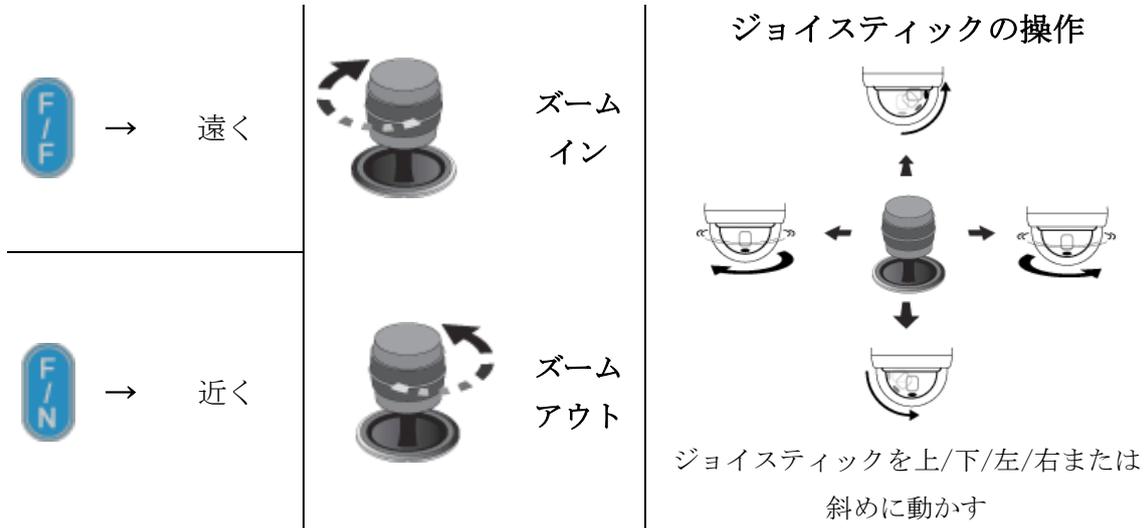
■ カメラの選択

必要なカメラを操作するには、1～255の数字と「ENT」を押します。

ex) カメラを選択 :  → 

Camera : 001

■ ジョイスティックとカメラの基本機能



3-3-2. パスワード機能

パスワードモードがオンの場合、キーボードすべての機能が動作しません。

パスワードは3桁で、数字のみが使用可能です。初期パスワードは「000」

■ パスワードモードの選択方法

① このボタンを押します。  →

Pass Mode OnOff?

“Pass Mode OnOff?”というメッセージが表示されたら、“ON”または“OFF”ボタンを押してください。

	キーボードを制御できません
	キーボードの操作が可能

- パスワードモードがオンになっている場合

このボタンを押します。  →

Password:

3桁のパスワードを入力した後、左側の数字パッドでボタンを押します。
(初期パスワードは「000」です。)

■ パスワードの変更方法

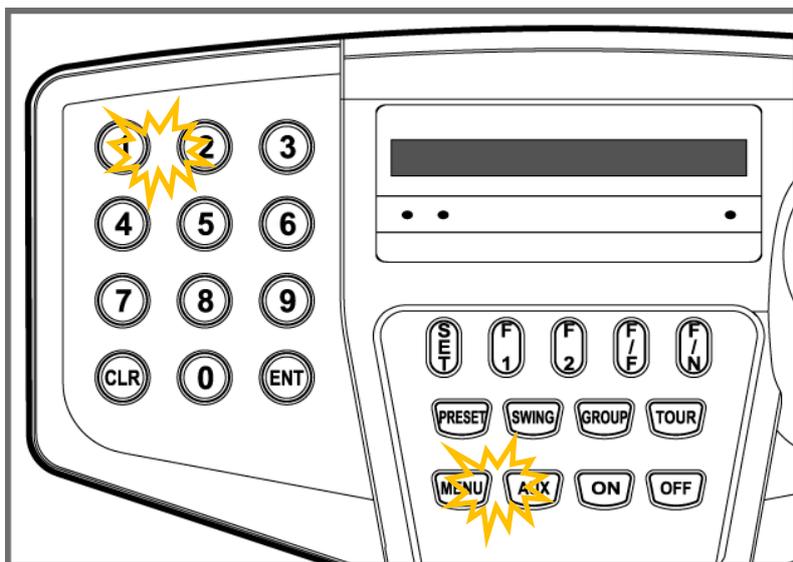


3-3-3. OSDの入力と使用方法。

■ OSD抑制

スピードドームカメラのOSDメニューが表示されます。

■ OSDメニュー



上記のボタンを押すと、ブザー音でモニターにOSDメニューが表示されます。

■ OSDメニュー抑制

モニター上でカーソルが点滅します。

ジョイスティックを上/下/左/右に動かし、必要な場所に置きます。

■ OSDメニューを終了する



上記のように押すと、モニタのOSDメニューが消え、メニューを終了することができます。

3-3-4. プリセット位置の設定

各カメラに250までのプリセット位置をプログラムすることができます。

■ プリセットを保存



プリセット設定（1～250）を保存するには、監視したいカメラを移動して上記の手順を繰り返します。各カメラでこの設定を行うことができます。

■ プリセットポジションに移動



プリセット番号（1～250）を押し、「PRESET」キーを押して指定の位置に移動します。

■ 各プリセットを個別に削除する

約2秒間「CLR」ボタンを押し、ブザーが鳴ったら以下の手順に従います。

例) プリセット番号5の削除



■ 取り消す場合はこのボタンを押して下さい。



■ プログラムされたプリセットをすべて削除する

- ビープ音が鳴ったら、「CLR」を3秒間押し、以下の手順に従ってください。

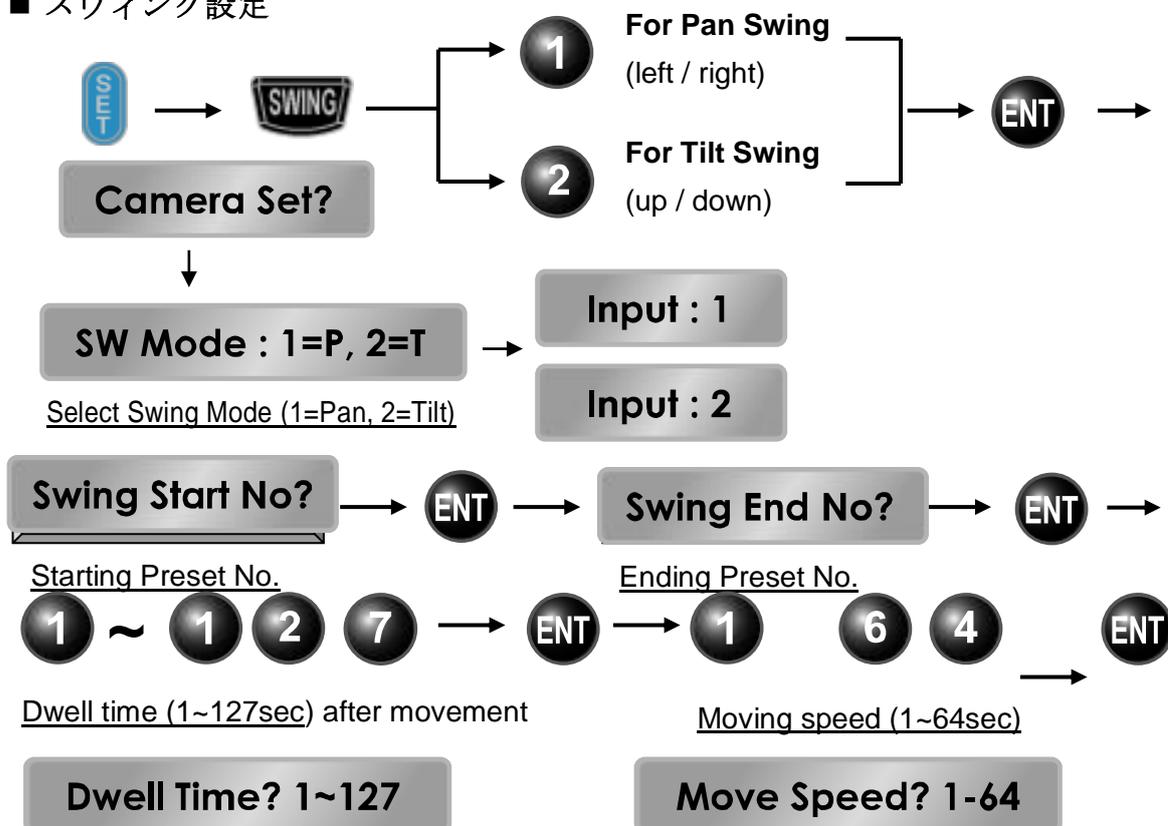


3-3-5. 自動スイングモードの設定

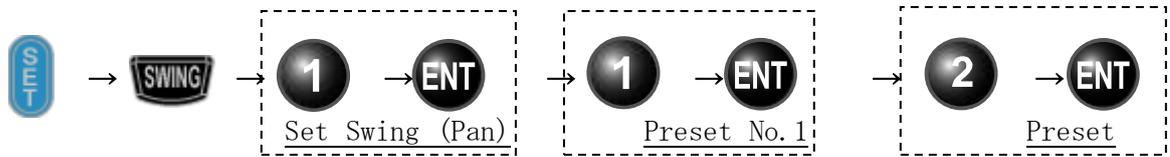
スピードドームを2つのプリセット位置の間で前後に動かすことで、繰り返し監視モードにすることができます。

(この設定は、CCTVレシーバーの自動パン)機能として使用できます)。

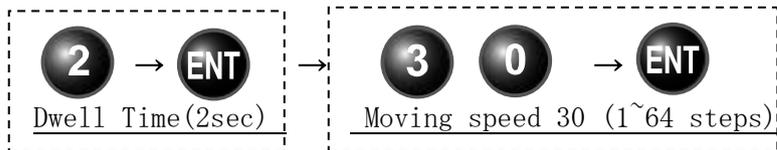
- スウィング設定



例) プリセット番号1, 2、および2秒間で、30の移動速度で「パンスウィング」を設定したいとき。



No. 2



- 滞留時間：2つのプリセット位置の時間間隔（秒）。
- スィングスピード：AからBポイントへの移動速度。（64 =最高、1 =最低）
- パンを左右に、チルトを上下に設定してください。
- 上下左右のプリセット番号を混同しないでください。

■ スウィング起動



■ スウィング停止

このボタンを押し、 スウィングを操作して下さい。

3-3-6. グループモードの設定



最大12個のプリセットポイントを1グループに割り当てることができます。特定の移動速度と滞留時間で最大12個のプリセットポイントを束ねることで、スピードドームを操作し監視

■ グループ設定

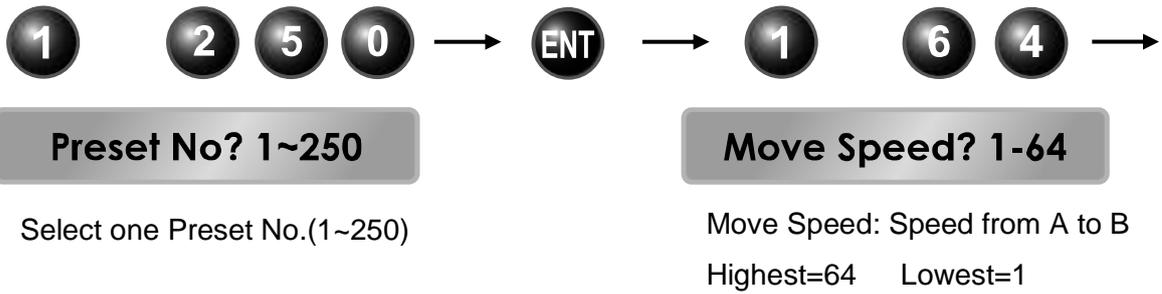


Camera Set?

Setting Group Mode

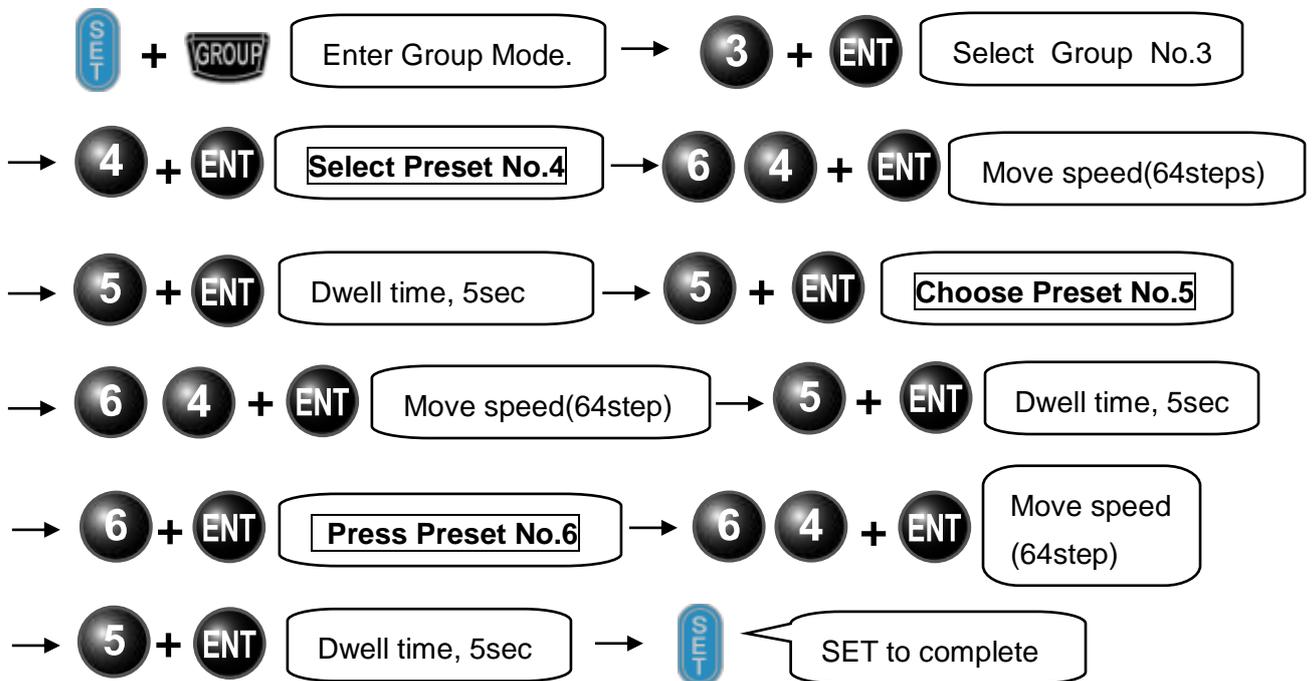
Group No? 1-12

Choose One Group Number between 1~12.



Dwell time: Time for which the camera stays before it starts to move.

- プリセット番号から入力が続けてください。
 - 設定が完了したら、SETキーを押して通常モードにします。
 - 別のグループを設定する場合は、上記の手順に従って12グループまで保存してください
- 例) グループNo. 3のプリセットにNo. 4~6を速度64、滞留時間5秒で保存します。



■ グループ起動



■ グループ停止

このボタンを押し、GROUP ジョイスティックボタン  JOYSTICK で操作します。

■ グループ削除



Clear Function !

All Group Clr ?

Camera 1~125

Notes グループを削除すると、プリセット値も同時に削除されます。

-削除する代わりに既存のグループに別のグループを設定すると、更新されたグループが残ります。つまり、削除して別のグループを設定する必要。

3-3-7. ツアー設定

ツアーでは最大12のグループを設定でき、すべてのグループは自動的に連続して操作できます。

■ ツアーモード設定

① ツアーモード設定



② グループNo. 1~12のグループを選択します。

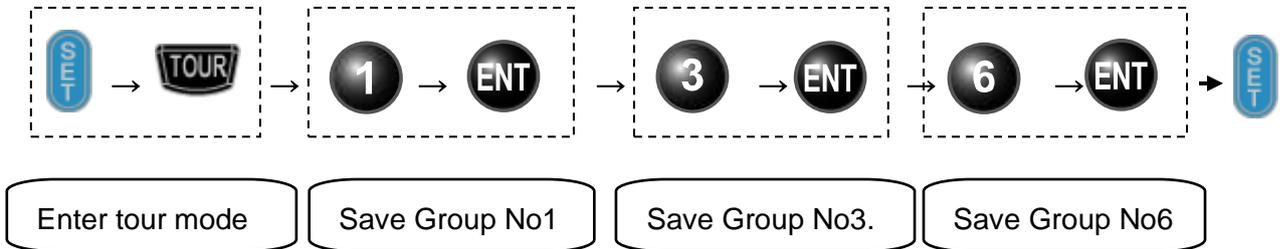


③ 複数のグループを入力する場合は、この手順を繰り返します。

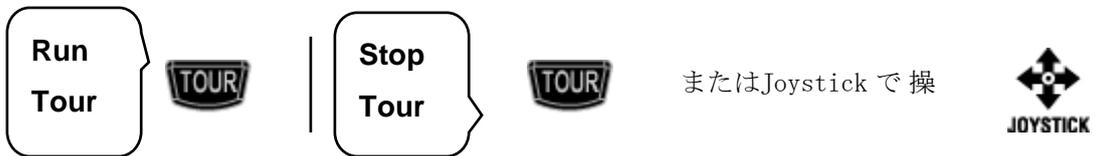


入力が完了したら、SETキーを押してツアー設定を完了します。

例) ツアーのグループ番号1, 3, 6を保存したいとき。



■ ツアーの実行/停止/削除



■ ツアーの削除



Notes ツアーを削除すると、すべてのグループ、プリセット値も削除されます。ツアーを削除しなくても、既存のツアーで再度ツアーを設定することが

3-3-8. スパイラル設定

らせん状に監視することができます。

■ スパイラル オンオフ:



3-3-9. P/T/Zトレース設定

ドームが動いた場所にトレースをいくつか保存することができます。そして、ドームはそれらを記憶し自動的に180秒までトレースします。

■ トレースの起動と停止



■ トレース設定



■ トレース削除

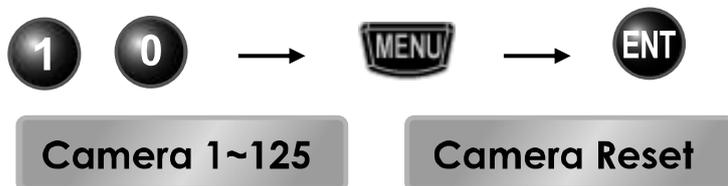


Notes 詳細な説明はPTZマニュアルを参照してください。

3-3-10. カメラリモート設定

この機能を使用すると、エラーが発生したときカメラまたはCCTVレシーバーをリセットできます。

-制御したいカメラを選択し、押してください **10 + MENU**.

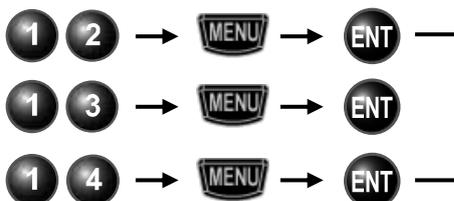


3-3-11. その他の設定

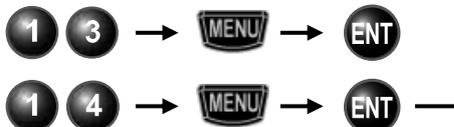
①カメラ/ライト/外部 (AUX 1、AUXセンド2) /電源オン/オフ



②左/右変換



③ズームイン/アウト



④フォーカス



It works on D-max Receiver only.

⑤ジョイスティック速度



⑥ブザーオン/オフ



⑦P/T位置



⑧レンズ位置



⑨スピードドームホー位置設定



⑩スピードドーム内部ファン設定



⑪スピードドームファンのオン/オフ



4. 注意点とチェックポイント

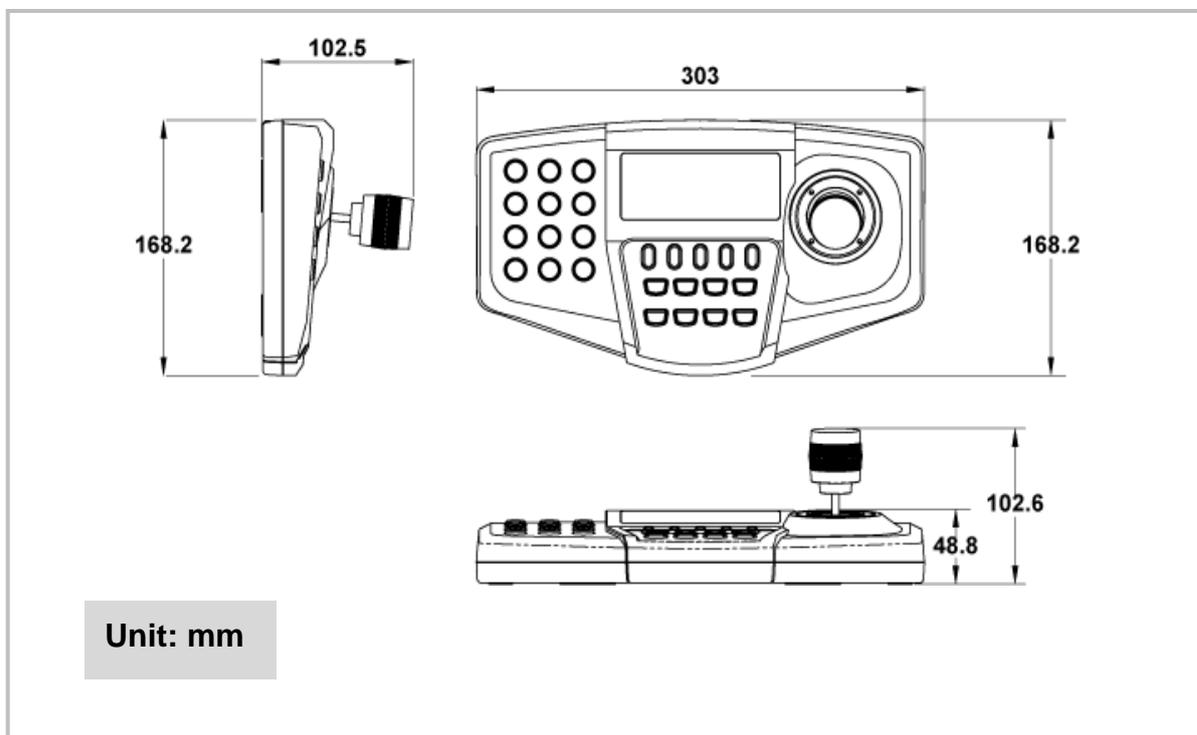
- 設置中、装置に電源を供給しないでください。
- 使用温度が5℃～50℃で換気の良い場所に設置してください。
- 装置の誤動作の原因となる衝撃や振動のある場所には十分注意してください。
- 本機を太陽や雨天の天候に直接さらさないでください。故障の原因となります。
- 電磁波が多い場所や通信エラーの原因となる場所には設置しないでください。
- 装置の設置時に配線を誤って接続しないように注意してください。
- ブザー音が消えるまで、絶対に本機を操作しないでください。
- 外部への配線（ケーブル）が絶縁されているかどうかを確認した後、ユニットに電源を供給してください。
- ジョイスティックを操作するときにあまり力を入れすぎないでください。

■トラブルシューティングとチェック

製品が故障した場合、下記のトラブルシューティングを確認してください。

機能不全	チェックポイント	トラブルシューティング
電源が入りません	電源は適切に供給されていますか？	DCが正しく接続されているか確認してください。
		アダプタ（電源装置）が正常に動作しているかどうかを確認してください。
Pan/ Tiltが動きません	正しいカメラ番号を入力しましたか？	'CLR' キーを押して正しい番号を入力してください
	RX (Receiver) のアドレスはカメラ番号と同じですか？	RX (受信機) のDIPスイッチを再度確認してください。
プリセット（移動）機能がうまく動作しません。	PRESETモードでプリセット番号を設定して保存しましたか？	もう一度PRESETの設定をやり直してください。
	カメラ（本体）にPRESET機能はありますか？	PRESETに対応するカメラもあります。

5. 寸法



6. 標準

6-1. 一般スペック

セクション	スペック
出力信号	● RS - 485
通信速度	●速度9,600BPS、8Bitデータ、1Bit
操作上の関数	●パン/チルト/ズームレンズを操作する ●カメラの電源のオン/オフ、ライトの電源のオン/オフ、AUXのオン/オフ ●プリセット、スイング、グループ、ツアー、トレースの設定と実行
操作(表示)	●ディスプレイ：LCDディスプレイ ●入力：入力した番号が出力されます。 ●カメラ：カメラ番号を入力すると、指定されたカメラ（1-256）でモニターに映像が表示されます。 ●アラーム：アラームオン時にLEDが点灯します。
使用中の音	●該当するキーを入力すると約0.5秒間ブザーが鳴ります。 ●間違ったキーを入力した場合：3回鳴ります。
付属品	● キーボード本体 -1- ● 電源：DC 12V 1.0A -1- ● 取扱説明書 -1-

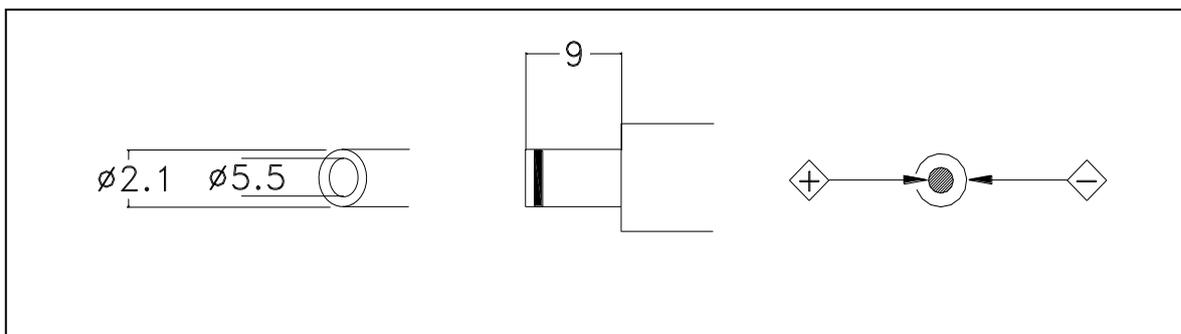
6-2. コントローラースペック

アイテム	スペック
入出力端子	ターミナルブロック
カメラと通信する	RS-485
動作温度	0~40. C
保管温度	-5~55°C
動作湿度	10~75%
保管湿度	10~95%
寸法	303 (L) ×168 (W) ×45 (H)
重量	約1.2kg

6-3. 電源

電圧: DC 12V (±20%)

電流: 1.0A (min)



6-4. カメラ操作インターフェイス

アイテム	スペック
データ/同期の長さ	非同期シリアル
	1 スタートビット
	8 データビット
	パリティなし
	1 ストップビット
	11 バイトコマンド
信号の極性	論理「1」をマークする。
	スペースロジック "0"
伝送の方法	半二重
伝送速度	9600 bps

7. 操作の一覧

操作	機能	
Keyboard [1-255] + [ENT]	カメラの選択	◎
[SET] [J.S Stop]+[SET]+[Keypad 1~250]+[PST] [Preset No]+[PST] [CLR+2sec]+[Keypad 1~250]+[PST] [CLR+2sec]+[PST]+[ENT]	プリセットモードの設定を開始する プリセットの移動と実行 プリセットを1つずつ削除する すべてのプリセットを削除する	◎
[SET]+[SWING] [1/2]+[ENT] [Keypad1~250]+[ENT]+[Keypad 1~250]+ [ENT] [Keypad 1~127]+[ENT] [Keypad 1~64]+[ENT] [1/2]+[SWING] [SWING]/ジョイスティック	起動スイングモード パンまたはチルトスイングの選択 プリセットポイントを2つ設定する 滞留時間の設定 スイング速度の設定 パンまたはチルトスイングを実行する スイングを止める	◎
[SET]+[GROUP] [Keypad 1~6]+[ENT] [Keypad 1~250]+[ENT] [Keypad 1~64]+[ENT] [Keypad 1~127]+[ENT] [SET] [Keypad 1~12]+[GROUP] [GROUP]/ジョイスティック	グループモードを開始 グループ番号を選択 プリセットポイントを選択 移動速度をプリセットからプリセットに設定する。 滞留時間を設定する 入力値を確認する グループを実行する グループを停止する	◎
[SET]+[TOUR] [Keypad 1~12]+[ENT]←繰り返し [SET] [TOUR] [TOUR]/ジョイスティック	ツアーモードを開始する リピートツアーの価値 確認 ツアー観察を実行する ツアーの観察を停止する	◎
1+[AUX] + [ON/OFF]	CCTVカメラの電源オン/オフ	◎
2+[AUX] + [ON/OFF]	CCTV LIGHT電源オン/オフ	◎

[7]+[MENU]+[ON] [7]+[MENU]+[OFF]	スパイラル機能オン スパイラル機能オフ	◎
[8]+[MENU]+[ON] [8]+[MENU]+[OFF]	P / T / Zトレースを実行する 停止P / T / Zトレース	◎
[9]+[MENU]+[ON] [9]+[MENU]+[OFF]	P / T / Zトレース記憶 記憶されたP / T / Zトレースの削除	◎
[Keypad] [1~255]+[ENT]+[10]+[MENU]+[ENT]	選択したカメラのリセット	◎
[11] + [MENU] + [ENT] (レシーバで利用可能)	アップ/ダウン切り替えモード	◎
[12] + [MENU] + [ENT] (レシーバで利用可能)	左/右切り替えモード	◎
[13] + [MENU] + [ENT] (レシーバで利用可能)	ズームイン/アウト切り替えモード	◎
[14] + [MENU] + [ENT] (レシーバで利用可能)	フォーカス遠近切換モード	◎
[CLR] 2秒間長押し [PRESET No 1~64] + [PST] [PST] + [ENT] [GROUP] + [ENT] [TOUR] + [ENT]	クリアモードに入る プリセットを一つずつ削除する すべてのプリセットを削除する すべてのグループを削除する ツアーの削除	◎